

1. 基本事項

施設名称	川崎市幸スポーツセンター	評価対象年度	平成25年度
事業者名	株式会社 明治スポーツプラザ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	幸区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	25年度	14,248	14,588	13,789	14,865	12,049	15,429	15,435	14,976	12,790	18,484	11,988	14,122	172,763
	24年度	12,801	15,258	14,782	12,229	14,316	18,418	13,623	13,352	11,645	17,462	12,246	14,097	170,229
	23年度	13,409	13,835	13,247	14,099	12,006	16,768	15,093	13,822	11,532	17,316	14,000	7,566	162,693

収支実績 (単位:千円)	収入	指定管理委託費	49,941
		利用料金収入	22,806
		事業収入他	19,635
		収入計	92,382
	支出	管理運営費	75,186
		支出計	75,186
	収支差額		17,196

サービス向上の取組	<p>指定管理第2期3年目、第1期を含めると8年目となり、これまでに蓄積された管理運営方法や、毎年実施している、顧客満足度調査を分析したうえで、利用者の声を反映し、様々な世代の目的や要望的確に掴むことで、毎年利用者を増やし実績を上げている。</p> <p>築28年目を向かえ老朽化した施設を、シャワー室の水廻りの腐食した壁の交換、廊下等の壁穴の補修等、少ない費用で効果的な補修を行い施設を明るく清潔な状態に保ち、施設利用環境の向上に努めた。また、男女更衣室の照明を省エネタイプのものに交換したり、シャワーのヘッドに節水アダプターを取り付けたりといった省エネ対策も積極的に行っている。また、機械室のメンテナンスをこまめに行い、センサーを交換、温度調整点検を実施することで、シャワー温度が不安定だったことを解消し、シャワー利用時間の短縮化に繋げることができた。</p> <p>顧客満足度調査では、施設についてマイナスの評価が多い反面、指導員の対応、教え方、受付係員の対応等の運営面について、高い評価をする利用者が多く、日ごろから、マナー研修、トレーナー研修、フロント研修等の様々な研修を重ね、その成果を実践的に行っている成果であり、高く評価することができる。</p> <p>トレーニング室ではインボディ(対組成成分)測定を継続し、利用者のモチベーション向上に寄与した。また、幼児(親子)向けの教室や高齢者の健康づくりコースを継続し、様々な年齢層が参加できるプログラムを企画し実施することで、新たな利用者の獲得が図られ、利用者数の増大につながっている。</p>
-----------	---

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由)				
		<ul style="list-style-type: none"> 公の施設としての役割を十分理解し、公平・公正な管理運営に努めている。 事業計画に基づいた施設の管理運営がなされている。 清掃や設備機器の点検は、専門業者委託により計画通り実施されている。また、業者委託だけに頼らず、職員による日常点検や清掃も併せて行うことで、館内の整理整頓、安全性の確保がなされている。 「顧客満足度調査」を業者に委託し、実施することで、客観的に利用者の声を分析・評価し施設の管理運営に活かしている。 			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休館日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービスの向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	4(0.8)	4
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	4(0.8)	4	
	(評価の理由)				
		<ul style="list-style-type: none"> 入館時間の繰上げや夜間退出時間の延長を行い、利用者の利便性を考慮した取組みを行っている。また、小学生限定のスポーツデーの日を設定し、放課後の児童のスポーツの推進が図られた。 プライバシーマークの認定を受けており、教室申し込みなどにより収集した個人情報は厳正に管理されている。 全ての職員を対象に、避難誘導訓練及び救命救急訓練を定期的に行い、毎勤務ごとに、AEDの取り扱い手順等の確認を行い、各種安全管理の資格の取得を義務付け、利用者の安全確保に努めている。また、マナー研修、トレーナー研修、フロント研修等を定期的に行い、習得した技術についてはeラーニングテストによって確認を行い、スタッフの技術、資質の向上に努めている。 			

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)実施しているか。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画に沿った運営を行っている。また、公の施設として、スポーツ教室の申し込みや施設の利用に当たっては、公平・公正な運営を行っている。スポーツデーでは、一部で講師を付け、トランポリン等の種目については、資格を持ったトレーナーを配置し技術習得・安全性を考慮している。 ・川崎フロンターレ幸アシストクラブの事務局を担うとともに、市主催のスポーツイベントや行事に積極的に参加するなど、生涯スポーツの推進、地域活性化に資する取り組みを行っている。 ・施設点検による休館日に、夜間の時間を施設開放するなど、総合型地域スポーツクラブの支援を継続して行っている。 ・地域企業との連携、市主催の大会への参加など結局的な取り組みが成されている。 					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか。	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由)				
<ul style="list-style-type: none"> ・予算と決算の比較増減があるが、支出超過することなく、安定した運営が行われている。 ・安全性を確保した上で、利用者にも協力を呼びかけながら一部消灯したり、シャワーに節水アダプターを取り付けたり省エネルギーの取組を実施し、経費節減にもつなげている。 					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

- ・第2期3年目となる25年度は、これまでに得た経験を活かしながら安定した管理運営を行っている。また、公の施設としての理念を尊重し、地域におけるスポーツ活動の拠点として、区民の健康増進や地域スポーツの推進に寄与するよう努めている。
- ・職員が施設や備品の修繕、清掃を積極的に行うなどにより、経費節減に努めている。
- ・あいさつ、声かけを積極的に行うことで、利用者との距離を縮めるよう心がけるとともに、利用者の意見や要望を聞きながら、可能なものは改善し、また、対応が困難なものについては説明責任を果たすなど、利用者の視点にたった運営を行っている。
- ・日頃から職員間における円滑なコミュニケーションを心がけており、事故等が発生した際にも迅速かつ適切な対応を図っている。また、救命救急訓練や避難誘導訓練など定期的にも実施し、職員の資質の維持・向上を図っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ・今後も地域との連携や共生を念頭に、スポーツ活動の拠点として幅広い事業展開を図るとともに、利用者増加とトラブルや事故の未然防止、利用者の満足度向上に一層努めること。
- ・市民誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるよう、民間のノウハウを活用しながら、事業活動の質の向上を図るとともに、市民の健康・体力の維持・増進やスポーツ活動の推進を図るなど、生涯スポーツの振興に努めること。
- ・引き続き総合型地域スポーツクラブの育成・支援、地域企業と連携したスポーツ振興を図るとともに、地域や利用者のニーズの把握に努めながら、教室等の事業の充実を図ること。
- ・建物・設備の経年劣化への対応を図りながら、引き続き適切な施設の維持管理に努め、利用者が安全かつ安心してスポーツを楽しめる環境を確保すること。
- ・事故や災害などの緊急時に備え、迅速かつ的確な行動を確保するため救命救急訓練や避難誘導訓練を実施するとともに、行政等への速やかな連絡や報告についても対応が図れるよう危機管理体制を維持・継続して構築しておくこと。